

## 本時のねらい

・学級のよさを見つけることの喜びを感じて、自分たちの学級や学校のよさをあらためて考え、みんなで協力して楽しい学級や学校を作ろうとする態度を養う。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・ロイロノートの共有ノート機能を活用することで、班での共同作業が可能になり、話し合いの中で出てきた意見を一つのシートに協力してまとめることができる。  
・ロイロノートの共有ノートや提出箱を活用することで、声に出して発表するだけでなく、クラウド上で意見の共有・交流ができ、より多くの児童の考えに触れられることをねらいとした。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・授業支援ソフト（ロイロノート） ・大型モニター

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題をつかむ 「学校や学級のよさについて考えよう」</li> <li>○資料の「交かんメール」を読む。</li> </ul>	
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「まりさん」の学級への思いについて考える。</li> <li>・シンキングツール（くまでチャート）を用いて考える。</li> <li>○考えを発表する。</li> <li>○自分たちの学校や学級の良さについて、班で協力して考える。</li> <li>・シンキングツールを自分たちの思考に合わせて選択し、活用して考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くまでチャートに問いを載せて児童に送る。</li> <li>・提出箱を共有し、他の児童の考えが見られるようにする。</li> <li>・大型モニターに児童のカード一覧を投影する。</li> <li>・共有ノートを活用し、班で話し合いながら、協働的に活動を行う。</li> <li>・使用するシンキングツールを指定しないことで、これまでの学習から自分たちに合ったものを取捨選択できるようにする。</li> </ul>
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各班で話し合った学校や学級のよさを発表する。</li> <li>○授業を振り返り、感じたことや思ったことを、手を挙げて発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型モニターに児童のカードを投影する。</li> </ul>

## 1人1台端末を活用した活動の様子

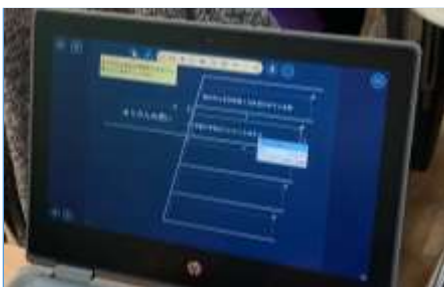


写真1：「まりさん」の学級への思いについて考える場面



写真2：自分たちの学校や学級の良さについて、班で協力して考える場面



写真3：児童が実際に活用したチャート

## 児童生徒の反応や変容

・提出箱や共有ノートを用いることで、他の児童の意見に触れる機会が増え、影響を受けて自分の考えに加えたり、自分の考えと比較してより考えを深めたりする様子が数多く見られた。  
・年度を通してシンキングツールの活用を進めてきたことで、児童はそれぞれの活動に応じてツールを選択できるようになってきており、今回の実践でもツールの選択、役割分担、話し合いとスムーズに活動に移る様子が見られた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

今回の実践では、考えを共有する部分に共有ノートや提出箱を用いたことで、よりたくさんの児童の意見を自分の端末で見られるようになり、様々な感じ方、価値観に触れる機会を増やすことにつながった。また、シンキングツールを用いたことで、最後の考えだけでなく、どんな思考のプロセスがあったのかを形にして残すことができ、評価にも生かすことができた。